

鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部（第36回）

- 日時：令和2年9月18日（金） 午後9時～
- 場所：鳥取県庁災害対策本部室（第2庁舎3階）
- 出席：知事、副知事、統轄監
令和新時代創造本部、危機管理局、総務部、福祉保健部
東部地域振興事務所、中部総合事務所、西部総合事務所、日野振興センター
境港市長、鳥取市保健所、アドバイザー（鳥取大学 千酌教授）
- 議題：
 - （1）県内で確認された陽性患者について
 - （2）その他

県内における新型コロナウイルス感染症患者の 確定について(36例目・第1報)

【36例目】

1 概要

性別：女性

年代：50代

居住地：境港市

職業：

家族構成：

2 現在の症状：

3 経過

4 国外、県外への移動歴：

5 現在の患者の状況：

6 濃厚接触者等の調査状況：

対応方針

1. 患者対応

入院協力医療機関に入院のうえ、治療を継続

2. 患者が勤務する医療機関の対応

- (1) 本日から救急外来・新規入院を中止。9月23日の診療、健康診断、外来を中止。一般入院患者は入院を継続
- (2) 陽性者との濃厚接触者である医療従事者11名は勤務から外し、14日間の健康観察とし、外部との接触を禁止
- (3) 感染症病床に現在入院中の新型コロナウイルス感染症陽性者4名は、9月18日に他の感染症指定医療機関に転院
- (4) 感染対策の点検等
 - ・明日、鳥取県感染制御専門家チーム(鳥取大学医学部附属病院千酌教授、上灘感染管理認定看護師など)により、今後の体制整備に向けた点検調査の実施
 - ・陽性者の所属する病棟等、使用した場所の消毒や感染防御対策についての相談・指導の実施

対応方針

3 濃厚接触者等への対応

○積極的疫学調査を実施し、濃厚接触者を特定

→ 最終接触日より2週間の健康観察

→ 外出自粛要請

○濃厚接触者や検査を希望する方等に対し、PCR検査を実施

4 県内医療機関に対する院内感染対策の周知徹底

○本事例を受け、県内医療機関に対して、院内感染防止対策の徹底を通知

医療提供体制

1. 入院体制について(9月18日時点)

確保病床(A)	現時点確保病床(B)	入院者(C)	C/A	C/B
	313床			

現時点確保病床38床を臨時的に追加確保(161床⇒199床)

2. 宿泊療養体制について

1施設(66室)を開設済み

※23例目の宿泊していた施設を、クラスター対策条例第6条(クラスター発生時の施設の使用停止等)に基づき、会社側が使用停止したことに伴い、利用者のうち感染が確認されていない濃厚接触者について、感染拡大防止の観点から、9月13日から宿泊療養施設を提供している。

鳥取県版新型コロナウイルス警報

地域	発令区分	発令期間
全県【重点地域：西部】	警報	10月2日まで

＜感染防止対策の徹底＞

※発令期間は状況に応じ延長

- 今後クラスターが発生した場合には、「鳥取県新型コロナウイルス感染拡大防止のためのクラスター対策等に関する条例」に基づく感染拡大防止措置の実施
- 学校関係については、周辺の感染状況によって休業などを判断

＜検査・医療体制の強化＞

- このたび使用停止する病床を上回る規模の病床(38床)を追加
- 保健所機能を強化(積極的疫学調査、発熱・帰国者・接触者相談センター窓口)
- 医療・福祉施設の感染防止対策の徹底
- 医療機関の患者用の病床確保、必要物資供給体制の強化

＜保健所支援に向け総勢40名の応援態勢を継続＞

- 疫学調査への応援のほか、検体搬送、ドライブスルー検体採取、その他の応援を行うための態勢を継続
- 感染拡大防止に万全を期すため、9/13からクラスター対策監を派遣
(9/16からクラスター対策監の補助のため職員を配置し体制を強化)
 - 県庁から職員を派遣(リエゾン、検体搬送、相談窓口、ドライブスルー検体採取等)
 - 上記の業務のほか、陽性者の特性等も考慮し必要な人員を配置

県民の皆様 県内にいらっしゃった皆様へ

<県民の皆様へのお願い>

移動の多い4連休になりますが、会食・三密に注意し予防を徹底しましょう

- ◆鳥取県内で初めてのクラスター発生に続き、医療従事者に感染が確認されたことについて、これまで以上にご不安の方も少なくないと思います。今回の感染者は、病院内の限られた接触範囲内で発生した可能性が高いと現状では考えられ、行動履歴等について現在詳細に調査中ですが、市中への感染のリスクが広がっている状況ではないものと考えます。県のウェブページなどから正確な情報を確認し、不確かな情報に惑わされることなく、冷静な行動をとっていただくようお願いいたします。
- ◆患者、医療従事者やその家族などに対し、誤解や偏見に基づく差別を行うことは決して許されません。新型コロナウイルス感染症に立ち向かっている患者、医療従事者の皆さまをみんなで応援しましょう。
- ◆秋の4連休など、観光や外出の機会も増える時期になりました。身近なところで感染する可能性もありますので、引き続き感染予防に努めてください。
- ◆親しい間柄であっても、マスクを外す瞬間をウイルスが狙っています。引き続き「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人の感染防止距離(概ね2メートル)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用、こまめな手洗い、こまめな換気などの感染予防に十分注意を払っていただきますようお願いいたします。リスクの高い高齢者、基礎疾患のある方や妊婦と会われる際は、特に注意しましょう。
 - ①帰宅後や何かを口に入れる前後(喫煙も含めて)の手洗いを徹底してください。
 - ②人と会話する際や距離が近い場合のマスクの着用を徹底していただきますようお願いいたします。
 - ③倦怠感やのどの違和感、発熱、味覚・嗅覚など多少の違和感を自覚した場合、親しい人であっても人と接触する際にはマスクを着ける、人との会食はさけていただくようお願いいたします。
- ◆医療機関では、院内感染防止のガイドライン等に基づき、感染対策に取り組んでいます。感染の懸念から、医療機関への受診を控える傾向が強まっていますが、過度な受診控えは健康上のリスクを高めます。まずは、かかりつけ医に相談しましょう。医療機関を受診したいと思ったときは事前に電話して指示に従うようにしましょう。
- ◆少しでも体調が悪ければ通勤・通学を含め外出は控え、まず、「発熱・帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

[東部] TEL0857-22-5625 (鳥取市保健所) [中部] TEL0858-23-3135・0858-23-3136 (倉吉保健所)
[西部] TEL0859-31-0029 (米子保健所)

- ◆お店を利用する際は、「新型コロナウイルス感染予防対策協賛店」、「新型コロナ対策認証事業所」(業界団体等からの推薦を受け、感染拡大予防対策に自ら取り組む事業所)を積極的に活用しましょう。
- ◆事業者の皆様は、業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、大切なお客様とお店・従業員を守るため、感染予防対策を十分に行ってください。
- ◆ご自身の予防と感染拡大防止のため、「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」や接触確認アプリ「COCOA」などを活用しましょう。

<県内にいらっしゃった皆様へのお願い>

- ◆新型コロナウイルスは、高齢者や基礎疾患のある方では重症化するリスクが高いことも報告されています。高齢人口が3割近くに進み、医師や看護師、医療機関などの医療資源も限られている鳥取県では、感染が拡大すればその影響は大きいものとなります。
- ◆自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。少しでも体調が悪ければ出歩かず、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。
- ◆ご自身の予防と感染拡大防止のため、接触確認アプリ「COCOA」や本県が独自に実施している通知サービス「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」などを活用しましょう。

<県外にお出かけされる皆様へのお願い>

- ◆感染拡大地域にお出かけの県民の皆様は、県ホームページで毎日更新している「感染警戒地域」情報を参考にいただき、感染予防を徹底し、警戒していただきますようお願いいたします。
 - 【特別感染警戒地域】(9都府県)
宮城県、栃木県、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、沖縄県
 - 【重要感染警戒地域】(9府県)
福島県、茨城県、埼玉県、石川県、岐阜県、三重県、京都府、兵庫県、福岡県
 - 【感染警戒地域】(13道県)
北海道、新潟県、長野県、静岡県、滋賀県、奈良県、広島県、山口県、香川県、高知県、佐賀県、熊本県、宮崎県 (R2.9.16現在)
- ◆感染が拡大している地域に行かれる場合は、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。
- ◆ご自身の予防と感染拡大防止のため、接触確認アプリ「COCOA」や訪問された地域の通知サービス等を活用しましょう。